

44

P 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 21 年 3 月 1 日 9 時 10 分～12 時 00 分)

## 注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。
2. 解答方法は次のとおりである。  
(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に  
成功したのは誰か。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた  
のは誰か。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
↓					
101	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

答案用紙②の場合、

101	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
101	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
→					
101	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の③と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
↓					
102	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5

答案用紙②の場合、

102	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
102	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
→					
102	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
- イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

## 注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。
2. 解答方法は次のとおりである。  
(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) **101** 破傷風菌の純粋培養に成功したのは誰か。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) **102** 解体新書を完成させたのは誰か。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	3 5

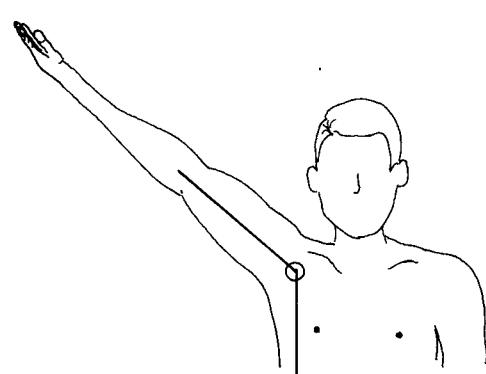
と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことにならないので注意すること。

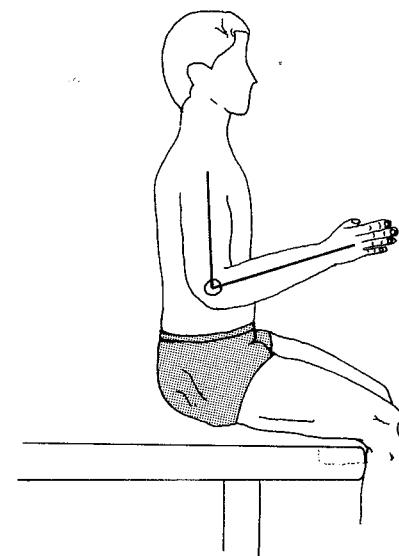
- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。  
イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎指示があるまで開かないこと。

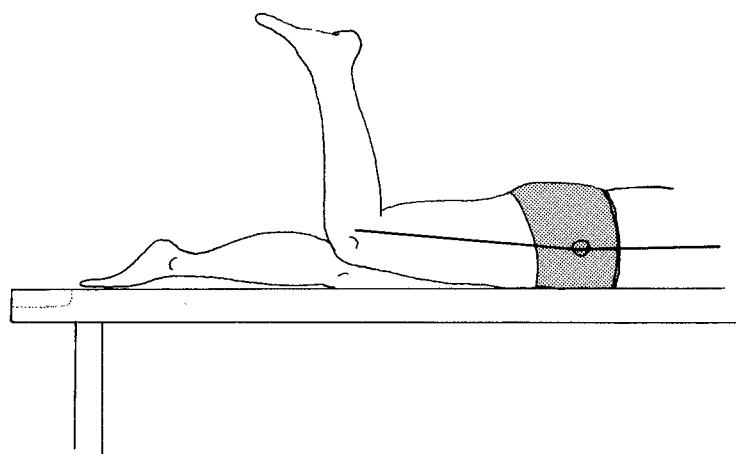
1 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で正しいのはどれか。



1. 外転



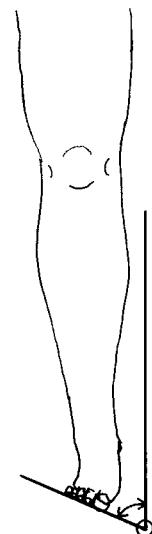
2. 屈曲



3. 伸展



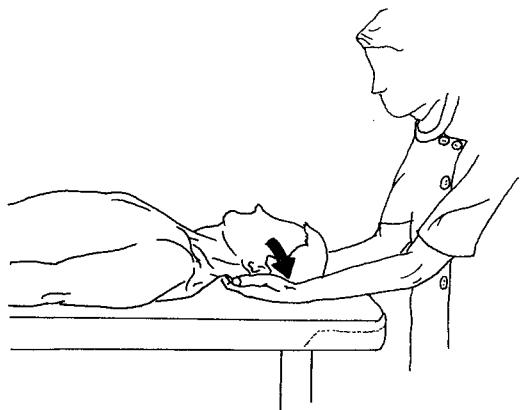
4. 底屈



5. 外がえし

2 Daniels らの徒手筋力テスト筋力 2 の測定法で正しいのはどれか。

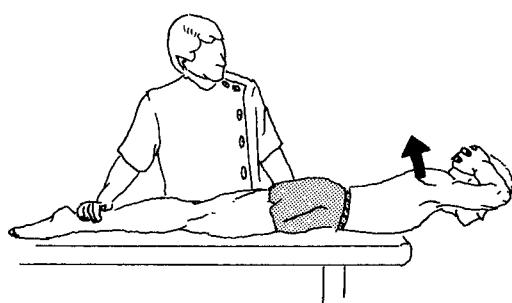
なお、図中の矢印は運動を指示する方向を示す。



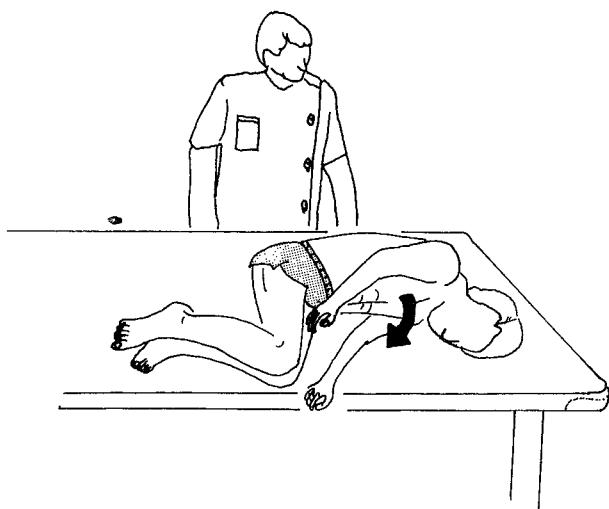
1. 頸部伸展



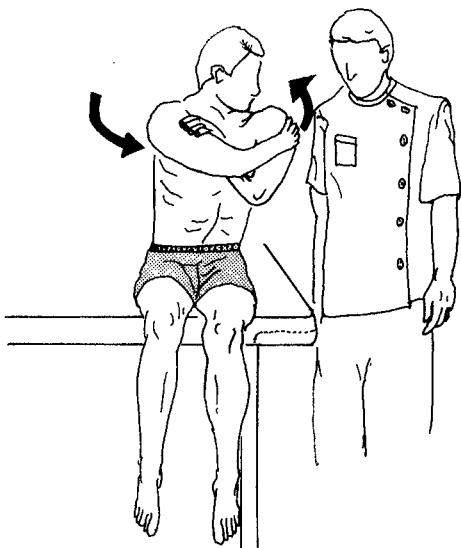
2. 頸部屈曲



3. 体幹伸展

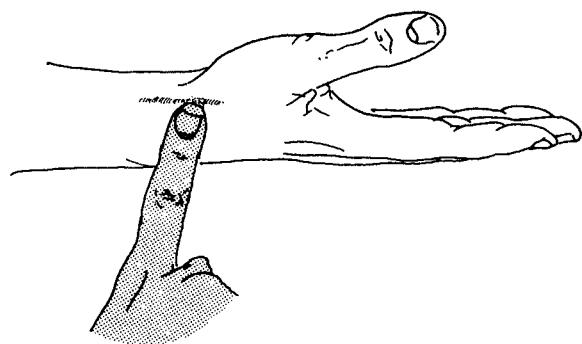


4. 体幹屈曲

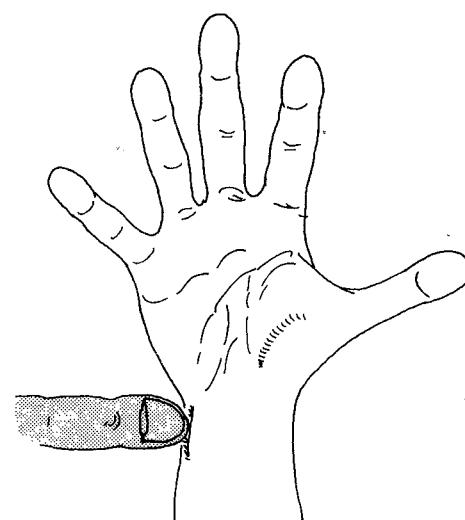


5. 体幹回旋

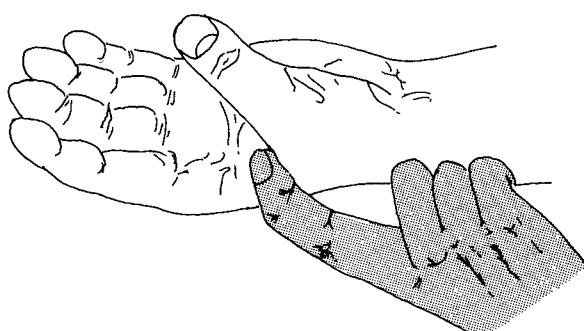
3 Daniels らの徒手筋力テストで触診部位が正しいのはどれか。



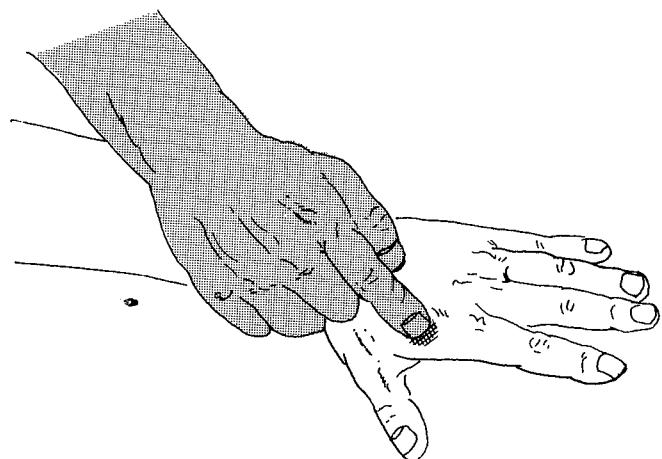
1. 短母指外転筋



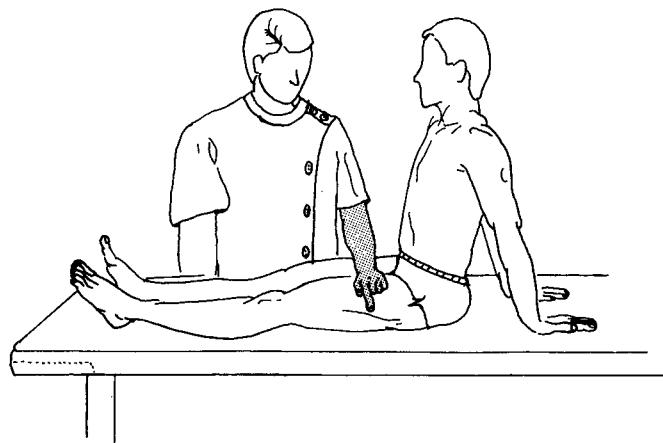
2. 小指外転筋



3. 母指対立筋



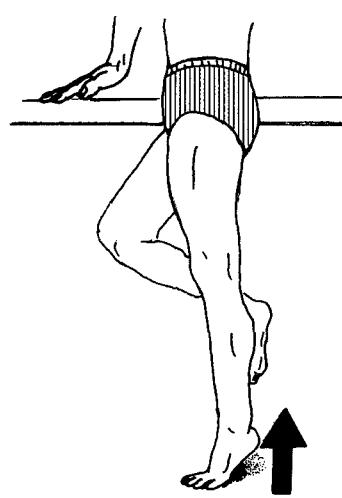
4. 第1背側骨間筋



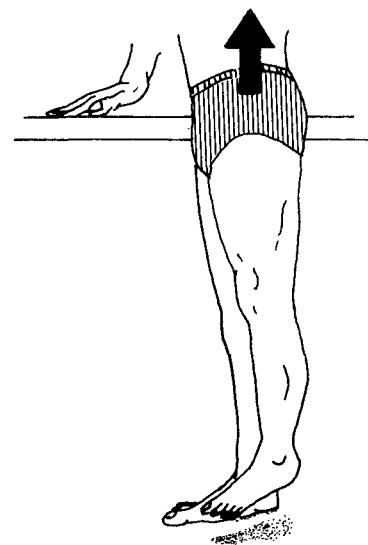
5. 縫工筋

4 Daniels らの徒手筋力テスト筋力 3 の測定法で正しいのはどれか。2つ選べ。

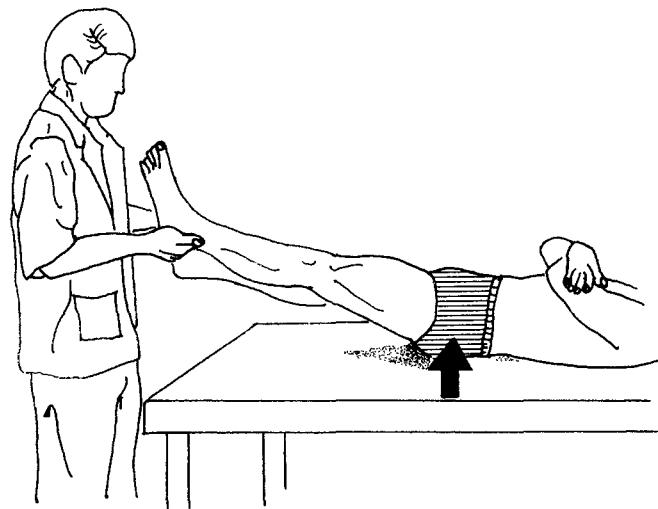
なお、図中の矢印は運動方向を示す。



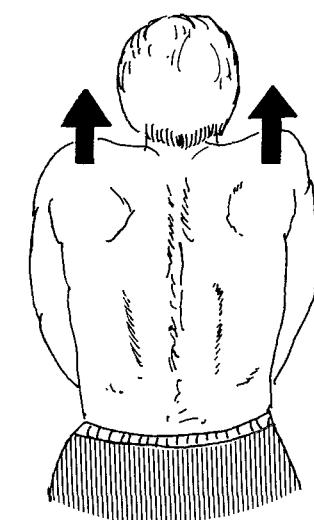
1. 下腿三頭筋



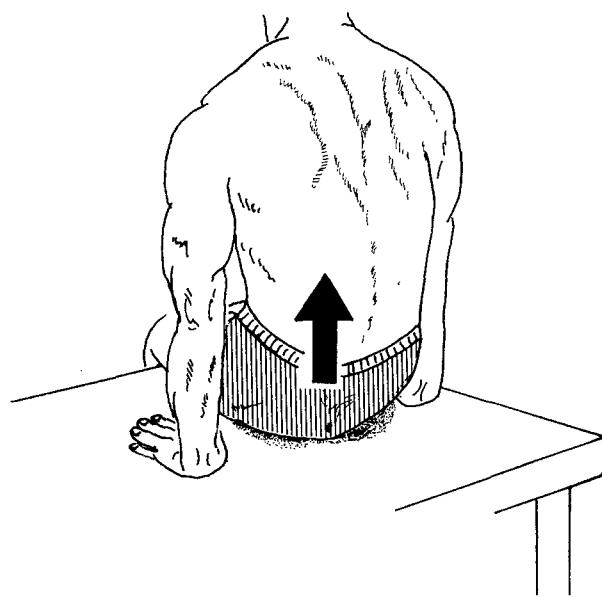
2. 腰方形筋



3. 大殿筋および膝屈筋群

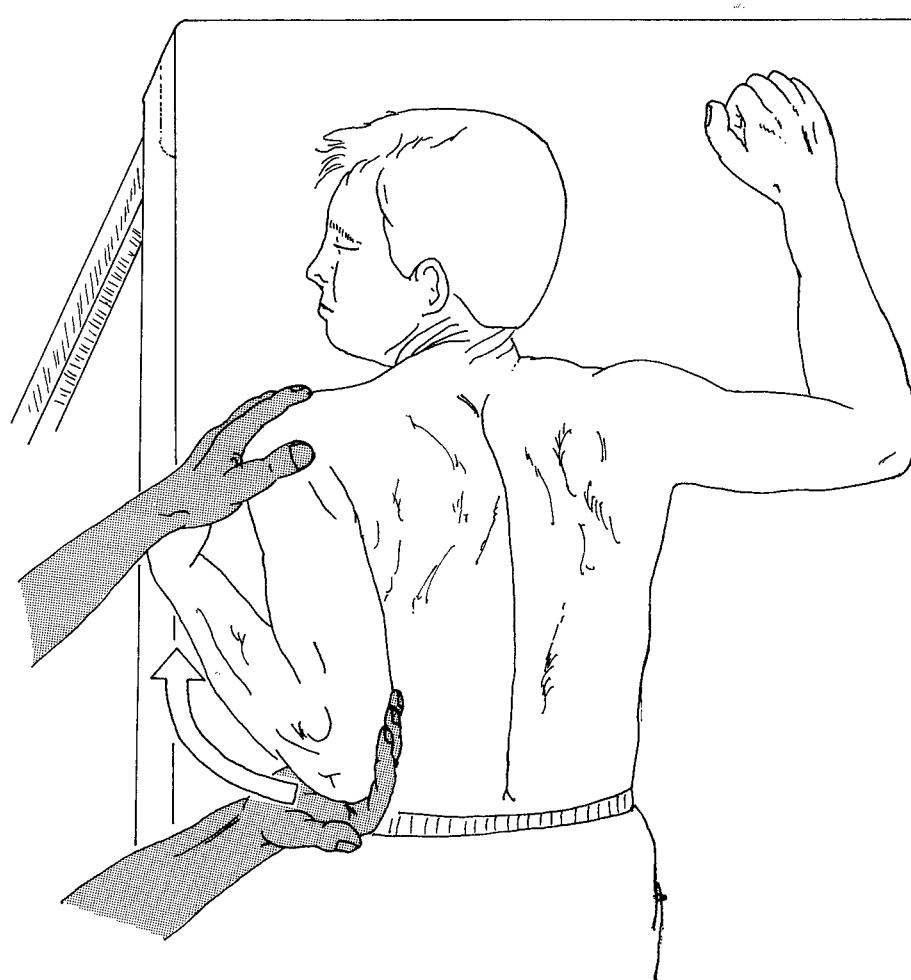


4. 僧帽筋上部線維



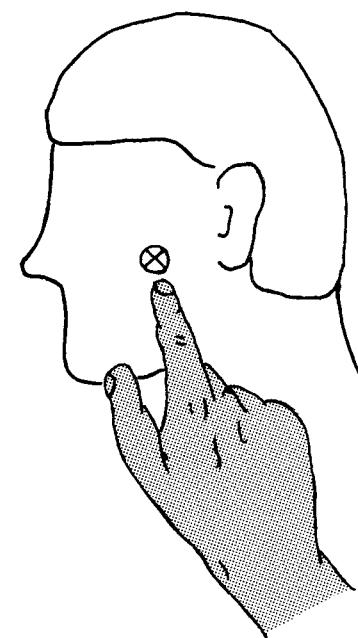
5. 広背筋

5 Kendall の筋力テスト法を図に示す。肩関節内転筋力の十分強い被検査者が腹臥位で図のように左側上肢を保持する。検査者は矢印の方向に力を加えて抵抗できるかを調べる。検査している筋はどれか。

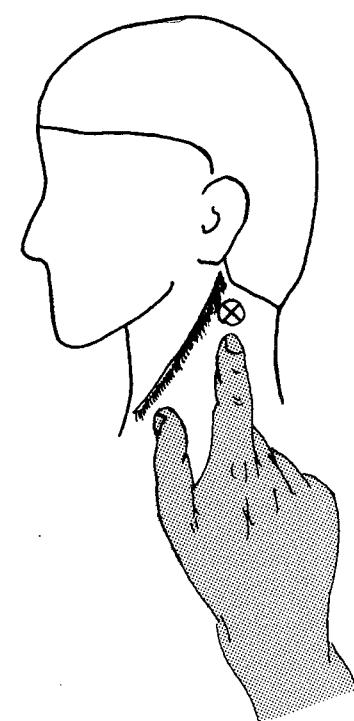


1. 棘上筋
2. 前鋸筋
3. 菱形筋
4. 三角筋中部線維
5. 僧帽筋下部線維

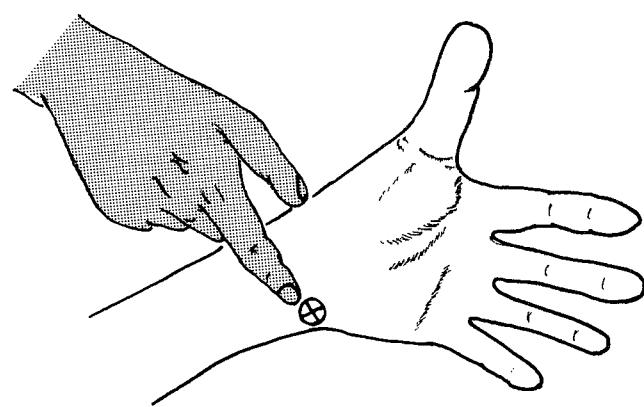
6 動脈の触診部位で正しいのはどれか。



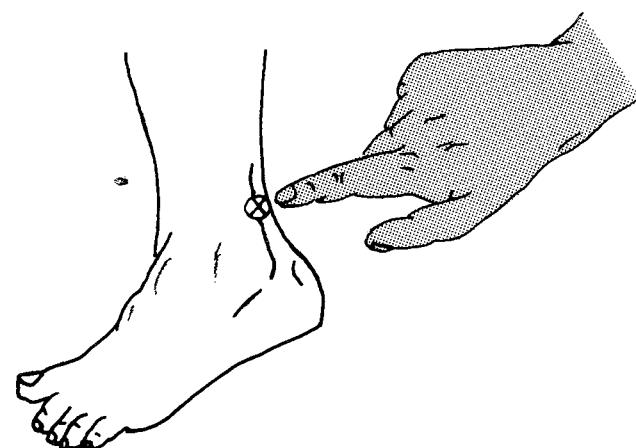
1. 浅側頭動脈



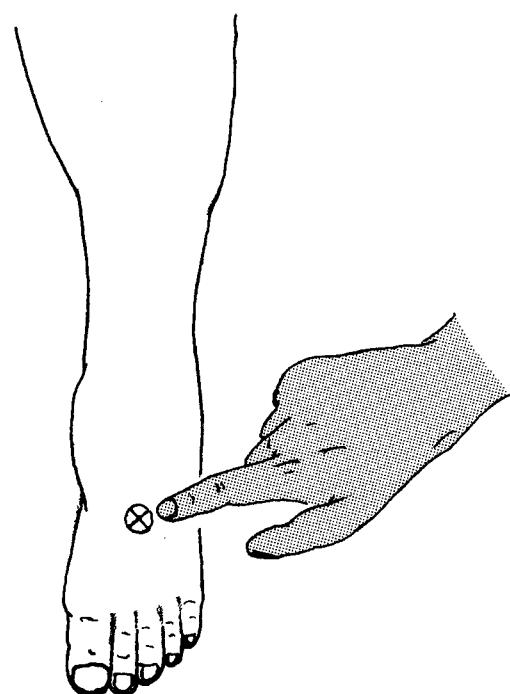
2. 総頸動脈



3. 橫骨動脈



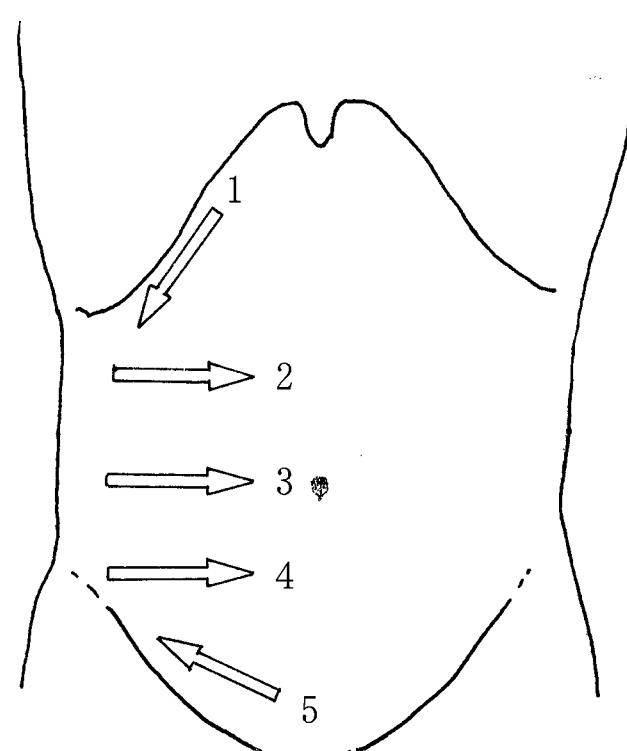
4. 後脛骨動脈



5. 足背動脈

7 腹壁反射の中枢がT5-6となる刺激部位はどれか。

なお、図中の矢印は刺激方向を示す。



8 80歳の女性。3か月前に居間で尻もちをついた。1か月前に第5腰椎圧迫骨折と診断され、腰痛が持続している。現在は促せば1km以上の歩行が可能だが、日ごろは転びそうな感じがするため自宅内での生活を送っている。

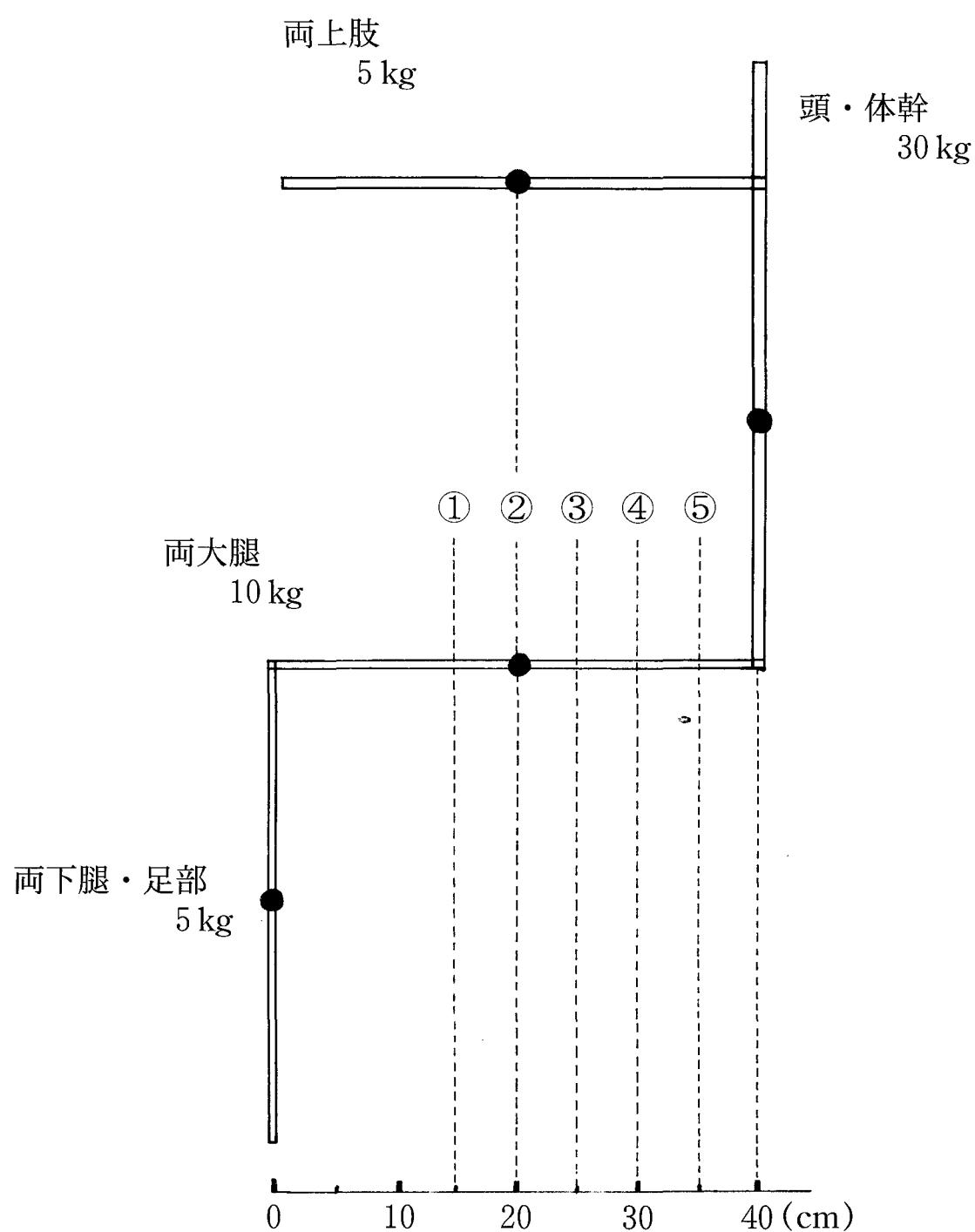
ICF(国際生活機能分類)に基づく記載の組合せで誤っているのはどれか。

1. 個人因子——外向性の中等度の障害
2. 心身機能——転倒感の中等度の機能障害
3. 身体構造——腰部脊柱の中等度の構造障害
4. 活動——自宅内の移動(能力)が可能(困難なし)
5. 活動——長距離歩行(能力)が可能(困難なし)

9 上肢 90° 挙上位での椅子座位姿勢における各分節の重量と重心位置とを矢状面スティックピクチャーで示す。

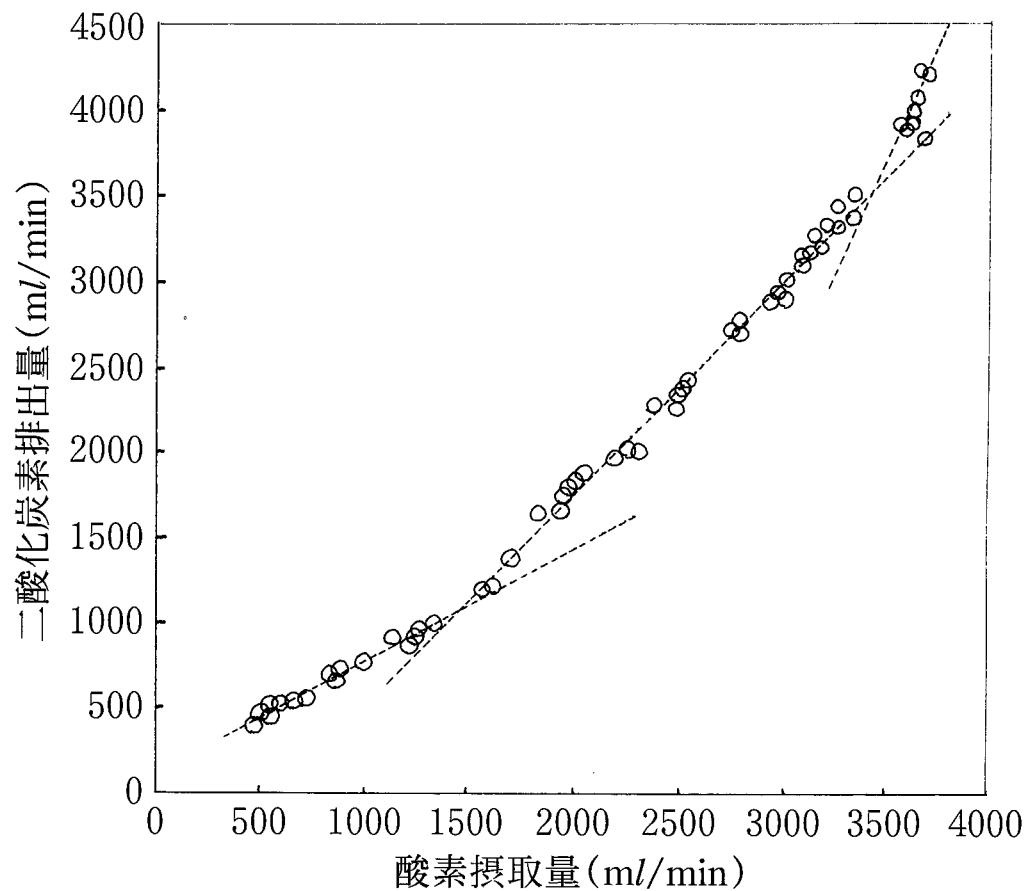
身体全体の重心線はどれか。

なお、図中の●は各分節の重心点を示す。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

10 25歳の男性。身長170cm、体重60kg。ランプ運動負荷試験における運動中の呼気ガス分析データを図に示す。  
正しいのはどれか。

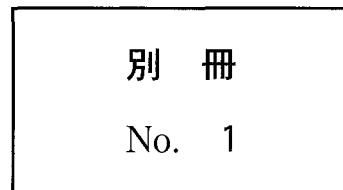


1. 回帰直線の傾きは呼吸商を意味する。
2. 対象者の最大運動能力は約 10 METs である。
3. 酸素摂取量が 1,500 ml/min 付近に無酸素性代謝閾値(AT)がある。
4. 二酸化炭素排出量が 2,500 ml/min の運動では脂肪が燃焼されやすい。
5. 最高酸素摂取量は約 3,500 ml/min である。

11 37歳の男性。サッカー中に右踵の上を蹴られたような感じとともに疼痛が出現し、片脚起立が不能となった。下腿後面の遠位部に疼痛と腫脹とを認める。右下腿部のMRI(別冊No. 1)を別に示す。

この病態で陽性になる徴候はどれか。

1. Apley テスト
2. Lasègue テスト
3. Lachman テスト
4. Thompson テスト
5. McMurray テスト



次の文により 12、13 の問い合わせに答えよ。

74 歳の女性。5 年前から左膝痛が出現し、徐々に増悪して歩行が困難となったため左膝の手術を受けた。術前と術後のエックス線写真(別冊No. 2)を別に示す。

別 冊

No. 2

12 術前の所見で認められるのはどれか。2 つ選べ。

1. 骨棘形成
2. 骨融解像
3. 外反膝変形
4. 特発性骨壊死
5. 関節裂隙の狭小化

13 術後の理学療法で適切でないのはどれか。

1. 術後 2 日目から大腿四頭筋のセッティングを行う。
2. 術後 3 日目から膝関節の可動域訓練を行う。
3. 術後 7 日目から足関節の自動運動を行う。
4. 術後 10 日目から荷重歩行訓練を行う。
5. 退院後も屋外で杖を使用する。

次の文により 14、15 の問い合わせに答えよ。

70 歳の女性。左変形性膝関節症に対する人工関節置換術後 2 週経過時、手術側下肢に深部静脈血栓症が発症した。

14 理学療法で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 右膝関節の自動屈伸訓練
2. 左膝関節の他動屈伸訓練
3. 両足関節の自動底背屈訓練
4. 右大腿四頭筋の等張性収縮訓練
5. 左下肢伸展位拳上訓練(SLR 訓練)

15 その後、深部静脈血栓症は治癒したが、手術側の膝に屈曲拘縮と疼痛とがある。

物理療法で適切でないのはどれか。

1. 赤外線
2. 超音波
3. 湧流浴
4. 超短波
5. ホットパック

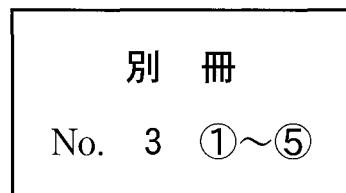
次の文により 16、17 の問い合わせに答えよ。

58 歳の男性。右利き。職場で倒れているところを発見され搬入された。意識は傾眠状態であったが、発症後 4 日で改善した。この時点での発話には異常がない。左手足に重度の運動障害と感覚障害とを認める。筋緊張は低下している。視力・視野は正常であるが、顔面は常に右方に向け、指摘しても左側を見ようとしない。

16 頭部 CT(別冊No. 3 ①～⑤)を別に示す。

この患者に該当すると考えられるのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤



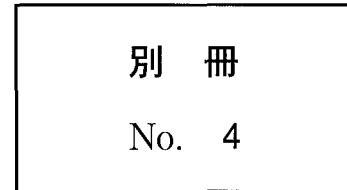
17 発症 10 日目に数分の端座位保持が可能となつたが、立位保持は介助でかろうじて可能であった。

この時点で適切な治療計画はどれか。2 つ選べ。

1. 頸部右回旋位を徒手的に矯正する。
2. 左上肢を意識させる。
3. 左下肢をナイトブレースで固定する。
4. 左下肢への荷重を促す。
5. 電動車椅子操作の訓練を行う。

次の文により 18、19 の問い合わせに答えよ。

75 歳の女性。突然の意識障害で搬入された。発症当日の頭部 CT(別冊No. 4)を別に示す。



18 考えられるのはどれか。

1. 脳塞栓
2. 體膜腫
3. 脳内出血
4. 硬膜下血腫
5. くも膜下出血

19 発症 3 日目の JCS(Japan coma scale)は 10 点であった。

この時点の理学療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 体位変換
2. 座位訓練
3. 移乗訓練
4. 腹筋強化
5. 関節可動域訓練

20 79歳の女性。左視床出血1週後、理学療法を開始した。JCS(Japan coma scale)は2点、喚語困難がみられる。Brunnstrom法ステージは上肢V、手指IV、下肢V。上下肢の関節覚は重度の低下。座位保持は1分程度可能であるが易疲労性。立位保持は軽度の介助で短時間であれば可能である。

この患者に対する理学療法で適切なのはどれか。

1. 立位での二重課題
2. 交互型歩行器での歩行運動
3. 麻痺側下肢に対する筋力増強
4. 座位での麻痺側手指の巧緻運動
5. 視覚代償による麻痺側下肢の感覚再教育